

大阪府阪南市について

●大阪でいちばん南の市

- ✓人口約5万人、高齢化率33.9%
- ✓大阪市内まで約40分、関空まで約20分（電車）
- ✓山と海が近く、浅瀬や干潟等の豊かな自然が残されたまち。

●課題

- ✓今後、急速に進む少子高齢化
- ✓地域資源を活用しきれていない、知名度の低さ
 - 持続可能な地域社会を形成していくためには、地域資源を活かした経済循環が必要。

事業目的とこれまでの取組

●持続可能なまちの実現

- ✓カーボンニュートラルを起点とした自然（里山・里海）と人が共生する持続可能なまちの実現
- ✓交流・関係人口の拡大・創出、移住・定住の促進

●環境の取組

- ✓環境省ローカルSDGS（地域循環共生圏）実践地域等に登録

●ワークスペース整備、移住定住WEB構築



01 陸と海からカーボンニュートラルを実現

事業概要

- ①遊休農地をお茶畑に転換しグリーンカーボンを推進
- ②アマモ場（漁場）再生によるブルーカーボンの推進
- ③環境教育推進の拠点整備



02 Co-ベネフィット創出により、新たな消費や交流人口を拡大

事業概要

- ①お茶の栽培や漁場の再生にあわせ新たな地域ブランドを確立
- ②陸や海で体験型コト消費の機会を拡大し阪南ファンを拡大
- ③普及啓発の推進プラットフォームの構築



03 阪南に集まる人々のゆとりのある時間（生活）を創出

事業概要

- ①「お茶のある暮らし」をキーワードにした市民の健康づくりを推進
- ②漁場の再生や体験型コト消費の拡大等を通じた新たな雇用の創出
- ③ゆとりある時間（生活）の実現に向けた、テレワークステーション、サテライトオフィスなどサードプレイスの整備



企業に求めるもの

- 企業版ふるさと納税による支援
- (仮称)はんなんCo-ベネフィット創出協議会への加入、共創
- テレワークステーション、サテライトオフィスの利用
 - ✓ 地元企業との共創
 - ✓ サテライトオフィスを拠点に新しい地域ビジネスの創出
- 大阪・関西万博 TEAM EXPO2025での共創

企業のメリット

- 地域資源をいかした新規事業の展開
- SDGs、社会貢献企業としてのPR
 - ✓ 市長贈呈式
 - ✓ HP・広報誌でPR
 - ✓ インターネットTVで紹介
- 里山・里海に触れあう多様な働き方の推進
- 企業版ふるさと納税を活用した事業で税負担の軽減



【連絡先】

阪南市役所

シティプロモーション推進課 前田・楠本（プロジェクトについて）

TEL：072-489-4510

政策共創室 太田・石橋（企業版ふるさと納税について）

TEL：072-489-4507